皆さんのアンケートの中に、〝サザンクロス を私のアレンジで〞と云う大へんうれしいご要望をよく目にしましたから今回のカセット は、きっと皆さんによろこんでいただけると思います。制作が終りに近づいた頃、3度目のコンピューターのバージョンアップ（改良のための改造)　が行なわれ完成間近ながら新しい 技術と素材を手にしました。今後かなり勉強しないとメカと対等につきあえなくなります。 技術革新の進歩は各国とも戦国時代さながら、 はっきりとこの分野の市民権の確立を実感します。

SCRAMBLE CALL～ ATTACK

そのバージョンアップをとりあえず利用して作ったものですが、カセットのトップらしくなりました。オリジナルアルバムはBGM集ですが、ここではメドレーにして置きました。

中間に雷鳴のエフヱクト、終わりに遠ざかる 爆弾の音を配しました。

SOL'S TRADITION

ただ一曲異質な気分をもつ作品でした。

私なりにハーモニーし直しましたがお許し願える範囲だと思います。大へん音の拡がり が気持よく出来たのでカセットの始めの方に 配しましたが、プロのミキサーにも好評でし たから多少自信が持てます。新しいスタジオでエコーのコントロールが出来る静けさを得たうれしい靖果だと思います。

MARIE～ DEWLIT EYES

多分美しい女の子のテーマであると思われる2曲をメドレーにしました。後半はこの力 セットで散見する4ビートですが、ともする と画一的なミュージックシーンの中ではフレッシュさが感じられます。よく以前に耳にしたカウントベイシーのエンディングにしました。

VIOLENT GAL(JEANNE）～ LANA

強力な女の子とやさしそうな女の子を組合わせました。前半は大へん力強いハーモニーの 構成でアマゾネスを思わせますが、ほんとはもっとメンタルなのかも知れません。後半は大 へんシンプルながらスマートで心地よい出来のオリジナルでしたから慎重に作ってみました。

この中で使った混声のコーラスは皆さんご 存知、〝**ハ**レルヤ〞の〝**ハ**〞の部分を使いまし た。うっかりすると〝レルヤ〞が出て来ますからその直前までをサンプルする訳ですが、 なかなかスリリングでした。

DANDY COLOGNE ～ BRIG HTNING

～ THE SOUTHERN‐CROSS UNIT

スインギーな曲ばかりで構成しました。男性用化粧品と見まがう男くさいナウさが溢れ ます。オルガンを主体にイキにと考えました。

3曲メドレーと思えないほど各曲がマッチした小品になり4ビートの楽しさが味わえます。

WAR CLOUD ～ FALCON FIGHTER ～ HOSHI NO DÉJÀVU

テーマソングを中心にほゞ同じテンポの曲を集めました。それぞれユニークな気分をもった作品でこんな組合わせにしても力強さは損われずオリジナルの質の高さを誇っています。 オーケストラの素材が有効でいゝバックアップになり私の今迄のカセットより一段とサウ ンドの厚さが表現出来たと思います。

YA・KU・SO・KU（約束）～WALKING IN THE SUN～WHISPER IN THE WIND～DESTINY

　オリジナルからバラードを全曲集めました。それぞれに美しいテーマは格調をもっています。 メドレーにしたことで一つのラブストーリ一になった様です。DESTINY の後半の移調をたくみに取り入れた作曲はおもしろく又その結末の処理もなかなか堂に入ったものです。

RED BIOLOYD～JEANNE

レンズマンにもこんなメロデ彳一とリズム をもった曲がありましたが流行なのでしょう か、それとも何かの強い影響でしょうか。それはとも角おもしろいサウンドには違いなく 作る側にとっては好都合です。次のJEANNE はVIOLENT GALとほゞ同じ内容で変化を つけるのに努力しました。たとえばリフレイン毎にバッキングの楽器を変え更に移調して 置いたことでしょうか。

SILENT TOWN～FREEDOM ADVENTURE

制作中にスタジオを訪れた人に好評でした。 楽器の数を少なくしその代りと云うのは変ですが最高の演奏をさせる様プログラムしました。データで作ったと思えない程後半ももり上が ります。正確さには冷たさが伴いますが、こ の場合はそれを何とか越える事が出来たと云う気がします。2曲のメドレーですが、それぞれにイキで私の好みでしたから作るのも楽 しく進み、何度もトラックダウンを重ねまし たが好結果が得られました。

あとがき

とくに暑い夏でしたが夢中になれる仕事をもつ喜びでそんなに苦にしないですみました。

新しいスタジオとニューバージョンで、機材との対決の明け暮れだったからでしょうか。 あい変わらず人々の善意や好意に支えられて仕事を続けられます。末筆ながら数多くお寄せ下さったアンケートに厚くお礼申し上げます。

(解説/東海林修）

－　東海林修プロフイール　－

学生時代よりジャズコンボを主宰し米軍キャンプ等で演奏活動を開始。ジョージ・シアリング・スタイルのピアノを弾いていた。その後、平岡精二（ヴァブラフォン）が率いるクインテットに参加、彼の所属している渡辺プ口の所属となる。

昭和39年、ザ・ピーナッツがテレビ映画出演の為渡欧した際、日本側音楽監督として参加、その機会にミュンヘンにてハインツ・キースリング氏に師事しオーケストレーションを修得する。その後、演奏家としてだけでなく、作・編曲家としても活躍。ステージ、レコード、テレビ・ラジオ等様々なジャンルに於て、超売れっ子としての数年間を過ごす。しかし、このままでは、自分の才能が摩滅するだけと考え、昭和44年～昭和45年にかけて海外へ脱出、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）に留学する。帰国後のNHKテレビ、「ステージ101」への音楽提供は、当時 《10年進んだアレンジ》 と言われ、音楽関係者に高く評価された。また、タイガース解散後ソ口活動を始めた沢田研二とコンビを組み、口ンドンにてアルバム制作、《許されない愛》等のヒットを生みだす。約4年間続いた彼とのコンビを解消し、かねてより念願だった自らのシンセサイザー・スタジオを設立、シンセサイザーの音楽の自主制作に没頭する。初のシンセ・アルバム《スター・ウォーズ》は、発表当時、絶大な支持を受けた。以後15枚に余るアルバムを発表、まだアニメーションのジャンルでは、《交響詩 さよなら銀河鉄道999》を手がけるなど、シンセサイザー以外の分野での活躍も見のがせない。現在は、デジタル・シンセサイザー《 Fair-light CMI 》を入手、Fairlight CMIを使った最新作に《うる星やつら》、《 SF新世紀レンズマン》がある。

CAY-700

CAY-700 '84.10 NIPPON COLUMBIA Co., LTD. 製造・発売元 日本コロムビア株式会社 MADE IN JAPAN